

2016年 東日本キッズサンボ選手権大会

主 催 一般社団法人日本ジュニアサンボ連盟
主 管 東日本キッズサンボ選手権大会実行委員会

- 1) 日 程 平成 28 年 4 月 17 日 (日)
受 付 9 時 30 分～10 時 15 分
計 量 9 時 30 分～10 時 (場所：会場内)
監督会議 10 時 15 分
開 会 式 10 時 30 分
試合開始 開会式終了後開始 ※進行状況によっては昼休憩をとります。
- 2) 会 場 町田市立総合体育会館
〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-1 2 TEL：042-724-3440
【最寄り駅】JR横浜線・成瀬駅 北口徒歩約 9 分
- 3) カテゴリ 幼児の部 ①男女年少～年長 (申告体重を基に主管者が階級を設定)

小学生の部
②男女 1～2 年生 (申告体重を基に主管者が階級を設定)
③男子 3～4 年生 (申告体重を基に主管者が階級を設定)
④男子 5～6 年生 (申告体重を基に主管者が階級を設定)
⑤女子 3～4 年生 (申告体重を基に主管者が階級を設定)
⑥女子 5～6 年生 (申告体重を基に主管者が階級を設定)

中学生の部
⑦男 子 (申告体重を基に主管者が階級を設定)
⑧女 子 (申告体重を基に主管者が階級を設定)
- 4) 試合時間 幼児① 2 分 / 小学生②～⑥ 3 分 / 中学生⑦～⑧ 4 分
- 5) 階 級 申込用紙に申告体重を記入。
その体重を基に主管が階級を設定し、組み合わせします。
※階級は最大で 5 階級程度とし、申し込み状況により調整します。
- 6) 計 量 (1) 申告体重との差違を計測するため、計量を行います。
(2) 1 キログラムオーバーまでは、差違として認めます。
(3) 体重が差違以上にオーバーしている場合は失格となります。
- 7) 競技規則 日本ジュニアサンボ連盟制定キッズサンボ・ルール (2015 年 7 月改訂版) を元に大会規定を設けます。
- 8) 服装 (1) 赤および青のサンボジャケット (リバーシブル可)
(2) 赤および青のサンボショーツ、または短パン・スパッツ
(金具、プラスチック、チャック類などの付着がないもの)
(3) サンボシューズ (グラップリングシューズ・レスリングシューズ可)
※【参考】全日本選手権においては、レスリングシューズの使用は認められません
サンボ着、シューズの購入や貸し出し等についての問い合わせは、下に記載した、「問い合わせ先」までお願いいたします。

- 9) 競技方法 (1) トーナメント方式。ただし、人数によりリーグ戦とする場合があります。
(2) 組合せは、主管者が決定します。
(3) 敗者復活戦は行いません。
(4) 体重の近い選手がいない場合、認定優勝とする場合があります。
- 10) 参加資格 (1) 中学生以下かつ15歳以下の男女で、道場に所属している者
(2) 所属道場の責任者の推薦がある者
(3) 本要項に同意し、申込書の誓約書に保護者の署名捺印がある者
(4) 過去に脳の疾患を負ったことがなく、心身ともに健康である者
(5) 皮膚真菌症などの感染症がない者
(6) 過去3ヶ月以内にサンボやそれ以外のスポーツや練習、試合などで頭部へのダメージを受けていない者
(7) スポーツ安全保険に加入している者
(8) 上記を全て満たす者
- 11) 表彰 3位までを表彰します。
- 12) 参加料 2,500円(1名につき) ※登録費は不要
参加費は、所属毎に、書類送付時までに、下記連盟口座まで振り込んでください。
- 三菱東京UFJ銀行
大久保支店(店番364)
普通口座0091995
一般社団法人日本サンボ連盟(シヤダンホウジンニホンジュニアサンボレンメイ)
- 13) 締め切り

2016年4月8日(金)必着

- 所定の出場申込書(別紙2枚=A4サイズ)に記入し、参加料の振り込み控え(コピー可)と一緒に送ってください。
スキャンデータのメール送信での申し込みも受け付けますが、原本(要捺印)を必ず大会当日にご提出ください。提出なき選手は欠場扱いといたします。メール受信の返信が24時間経過してもない場合は電話にてお問い合わせください。
- 12) その他 (1) 大会中の事故や怪我に対する責任は負いません。
(2) 試合中の負傷については、本人が補うものとします。
(3) 皮膚真菌症などの感染症がみられた場合には、事前に適切な処置を行ってから申し込みをご検討ください。症状によっては、大会審判団(ドクター)の判断により出場を御遠慮いただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。
(4) 参加選手の保険証を御持参ください。
(5) 表彰式は、赤のサンボ着で参加してください。

【出場申込書(2枚)および振込控え送付先】

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-22-16-214号
日本ジュニアサンボ連盟内 2015 東日本キッズ係

【問合せ・メールでの申込先】

担当: 田中泰秀 TEL 090-8857-5911
吉澤 昌 TEL 090-3348-6738
Email: info@mca.jp

2016年 東日本キッズサンボ選手権大会
出場申込書①(選手用)

※この用紙を申込書②(所属長用)と一緒に御提出ください。

申込日:2016年 月 日

ふりがな 氏名		所属	
性別: 男・女	年齢: 歳	生年月日:西暦 年(平成 年) 月 日	
身長: cm	2016年4月からの学年: 年少・中・長 / 小学 年生 / 中学 年生		
申告体重 kg (下着のみで計量した体重を記入してください)			

住所: 干	都・道・府・県	区・市・町・村	保護者氏名:	続柄:
			電話番号: ()	

サンボ・柔道・レスリング等の競技歴(経験年数・大会実績を、この欄にご記入ください)

- ・サンボ (年) 入賞歴等
- ・レスリング (年) 入賞歴等
- ・柔道 (年) 入賞歴等
- ・その他

申込締め切り 2016年4月8日(金)必着

※ご記入いただきました個人情報は、本大会運営に関する目的のみの使用いたします。
また、情報を第三者に提供することはありません。

誓約書

一般社団法人 日本ジュニアサンボ連盟 会長 殿

私は、上記選手の出場に際し、次の事項を誓約いたします。

- 一、別紙大会要項の内容をすべて承諾し、大会ルールを遵守し、正々堂々と試合させることを誓います。
- 一、本大会期間中の事故や病気、競技上の怪我などの発生について、大会要項の通り主催者並びに管理者は一切責任を負わないことを承諾し、保護者の責任において子どもを参加させます。
- 一、大会に関する著作権、肖像権、それらに付帯する権利は、すべて主催者に帰属することを了承します。

2016年 月 日

保護者署名

(印)

2016年 東日本キッズサンボ選手権大会
出場申込書②(所属長用)

※この用紙を申込書①(選手用)と一緒に御提出ください。

申込日: 2016年 月 日

ふりがな 道場名	ふりがな 所属長名 ----- (Eメール)
住所: 干	都・道・府・県
市・町・村・区	
電話番号: _____ (_____) _____	

以下の選手を、出場に際し推薦いたします。また、参考試合への出場に関しては連盟に一任いたします。

2016年 月 日

参考試合の体重差希望

= 何キロ差でも可 or _____ kg以内

お名前

(印)

No.	氏名	性別	学年	No.	氏名	性別	学年
1		男・女	幼/小・中 年	21		男・女	幼/小・中 年
2		男・女	幼/小・中 年	22		男・女	幼/小・中 年
3		男・女	幼/小・中 年	23		男・女	幼/小・中 年
4		男・女	幼/小・中 年	24		男・女	幼/小・中 年
5		男・女	幼/小・中 年	25		男・女	幼/小・中 年
6		男・女	幼/小・中 年	26		男・女	幼/小・中 年
7		男・女	幼/小・中 年	27		男・女	幼/小・中 年
8		男・女	幼/小・中 年	28		男・女	幼/小・中 年
9		男・女	幼/小・中 年	29		男・女	幼/小・中 年
10		男・女	幼/小・中 年	30		男・女	幼/小・中 年
11		男・女	幼/小・中 年	31		男・女	幼/小・中 年
12		男・女	幼/小・中 年	32		男・女	幼/小・中 年
13		男・女	幼/小・中 年	33		男・女	幼/小・中 年
14		男・女	幼/小・中 年	34		男・女	幼/小・中 年
15		男・女	幼/小・中 年	35		男・女	幼/小・中 年
16		男・女	幼/小・中 年	36		男・女	幼/小・中 年
17		男・女	幼/小・中 年	37		男・女	幼/小・中 年
18		男・女	幼/小・中 年	38		男・女	幼/小・中 年
19		男・女	幼/小・中 年	39		男・女	幼/小・中 年
20		男・女	幼/小・中 年	40		男・女	幼/小・中 年

「キッズサンボ」ルール概要

（日本ジュニアサンボ連盟作成）

【試合時間】

すべて1ピリオドで行う。 試合時間：幼児 2分／ 小学生 3分／ 中学生 4分

【勝 敗】

- ①一本勝ち
（即時終了）
 - ・ 立ち姿勢（足の裏のみで立つ）の状態では背中から落ちるように投げた場合
 - ・ 相手と8ポイント差が開いた場合
- ②ポイント差
 - ・ 試合時間終了に獲得したポイントの多い方を勝ちとする
- ③その他
 - ・ 試合時間が終了し、両者同点の場合は次の優先順位で勝敗を決定する
 - 1) テクニカルポイントの得点（投げ技・寝技の得点）が多い方が勝ち
 - 2) ビッグポイント（大きなポイント）のある方（多い方）が勝ち
 - 3) ラストポイント（最後に獲得したポイント）のある方が勝ち

【ポイント】

①投げ技

- ・ 4ポイント： 相手を投げ背中から落とすが、自分の体勢が崩れた場合
立ち姿勢の状態では相手を投げ、半身の姿勢（背中側90度以上180度未満）にする
- ・ 2ポイント： 相手を投げ半身の状態にするが、自分の体勢が崩れた場合
立ち姿勢の状態では相手を投げ、尻・肩・腹をマットにつかせる
- ・ 1ポイント： 相手を投げ、尻・肩・腹をマットにつかせるが、自分の体勢が崩れた場合

②寝 技

- ・ 4ポイント（抑え込み：20秒）
- ・ 2ポイント（抑え込み：10秒）

※抑え込みは、相手の胸に、胸・脇・背中の中のいずれかの部位を密着させ、相手の両方の肩甲骨をマットに固定した時点から始まる。1試合4ポイント（最高2回まで）まで有効。その後は、完全に半身（90度）になるまで抑え込みは継続する。

③リフト

- ・ 4ポイント：タックルやリフトで、相手の全身を腰より高い位置に完全に持ち上げる

※持ち上げた時点でブレイクし、投げとしての見込みポイントを与える。

④その他

- ・ 反則・消極行為により、相手選手にポイント（パッシーブ）が入る場合がある

※次項参照。選手は、より積極的な攻撃が望まれる。

パッシーブ＝1回目：アテンション／2回目：相手に1P／3回目：相手に2P／4回目：失格

【禁止事項】

- ・中学生以下の試合における、関節技および痛め技
- ・頸椎のみを抱えるなど、首に負担を与える投げ技
- ・バスター（スラム）。リフトをし、そのまま投げに移行すること
（スタンド状態からリフトした場合、持ち上げた時点で見込みポイントを与える）
- ・カニバサミ
- ・頭から先につく技。※内股、隅み返し等で左記の状態になった場合は反則とする
- ・絞め技。相手の口や鼻を塞ぎ、呼吸を妨げること
- ・打撃を加えること。組まずに足払いなどを行うこと
- ・その他、危険と思われる行為

※上記行為が見られた場合あるいは危険と思われた状態に陥った場合は、審判の判断で試合を止め、注意をする。注意後も同様の行為を続ける場合は、次の順で相手に反則ポイントを与える。

反則事項を1試合中に連続して行った場合＝1回目：相手に1ポイント／2回目：失格

●「関節技に準ずる危険な状態」の認識について：

故意か故意でないかにかかわらず、関節が固定され、危険と思われる状況になった場合はブレイクとする。

（例1）うつぶせの相手を抑え込もうと脇から腕を差して返そうとしている状態では、防御側選手の腕（上腕部分）が90度以上背中方向に曲がる、あるいは審判が危険と判断した場合はブレイクしてスタンドから再開する。

（例2）うつぶせ、亀の状態の相手を抑え込むために、頸椎に負担をかける状態にしてコントロールすること。

【その他】

- ①握手 手：試合開始・終了時は、センターサークルにてお互いしっかり握手をする。
- ②服装 装：上半身：コーナー色のサンボ着／下半身：コーナー色の膝上の短パン・スパッツ等
／足：サンボ用シューズ

- ・短パン・スパッツ等は、硬質の物質がついていないものとする
- ・女子はジャケット内に、白を基調とした首元にゆるみのないシャツを着用すること
- ・男子はジャケット内に衣類は着用しないこと
- ・サポーター類の使用は認める。ただし、硬質な部品がついていないものとする

【備考】

上記に明記していないルールに関しては、原則としてFIAS（国際サンボ連盟）ルール規定による。ただし、大会毎に規定を設け、大会審判長が認めた場合は、それを優先することができる。

以上